

KANAGAWA SDGs PARTNER
神奈川県 | SDGs未来都市 私たち一人ひとりの行動が、未来につながる。

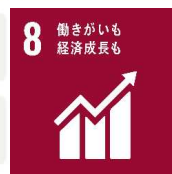


<かながわみんなのSDGs> 2023.2.2
「みんなのSDGs賞」 受賞！

かながわSDGsパートナー

NCCの取り組むSDGs事業について

2025年4月1日
株式会社日本コンピュータコンサルタント(NCC)



NCC会社概要



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

株式会社日本コンピュータコンサルタントは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

- 会社名 株式会社日本コンピュータコンサルタント
(URL <https://www.n-c-c.co.jp>)
- 設 立 1980年(昭和55年) 8月29日
- 事業内容 (1)業務ソフトウェアの開発
(2)介護関連他パッケージソフトの開発・販売
- 資本金 5,000万円
- 年 商 約46.25億円(2024年(令和6年)3月期実績)
- 従業員数 292名(2025年(令和7年)4月1日現在)
- 所在地 国内4拠点
(横浜本社、大阪支店、九州支店、名古屋事業所)

主なITサービス事業



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社日本コンピュータコンサルタントは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

●介舟ファミリー | 介護ソフト・障害者福祉ソフト



「介舟ファミリー」は介護保険・障害者福祉サービスの計画～請求作成の一貫した業務において、ケアマネジャー、サービス提供責任者、管理者の「業務の効率化」を目的に、「管理しやすい」「操作に迷わない」ソフトを提供します。「介護事業の一番身近なパートナー」としてお客様に“安心”を提供します。 <https://kaisyuf.jp/>

●moopad(ムーパッド) | 和牛繁殖管理システム



「moopad」は和牛繁殖において、システムによる“見える化”で、省力的かつ効率的な「スマートな繁殖管理」を実現します。ビッグデータを利用して牛を一頭一頭管理して生産効率を上げ、忙しく人手が足りない和牛繁殖農家の皆様のワーク・ライフ・バランスの向上に役立ちます。 <https://www.moopad.biz/>

NCCのマテリアリティ



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社日本コンピュータコンサルタントは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

- ✓ SDGsの17のゴール・169のターゲットから、NCCのマテリアリティ(重要課題)を分析
- ✓ ESGの3要素(環境・社会・企業統治≡経済)のすべての側面からNCCのSDGsゴールを特定



NCCの目指すゴール



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社日本コンピュータコンサルタントは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

経済

8 働きがいも
経済成長も



12 つくる責任
つかう責任



8.5「2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事ならびに同一労働同一賃金を達成する。」

12.8「2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。」

社会

10 人や国の不平等
をなくそう



16 平和と公正を
すべての人に



10.2「2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。」

16.7「あらゆるレベルにおいて、対応的、包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保する。」

環境

13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう



13.3「気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。」

15.4「2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。」

NCCのSDGsミッション



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社日本コンピュータコンサルタントは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

○IT普及による問題点

ITの普及に伴い、私たちの生活は進化し大変便利になった一方で、ITを活用しきれない業界との**デジタルディバイド(情報格差)**が生まれています。

○当社のSDGsミッション

当社は、上記課題をソフトウェアやITサービスで解決し、DX(デジタルトランスフォーメーション)化が今後の課題である業界(**介護、アグリ**など)の**産業振興を推進**することで、持続可能な社会の実現に貢献します。

介舟ファミリーの機能



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社日本コンピュータコンサルタントは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

介護保険や障害者福祉サービスの計画～請求作成の一貫した業務での、ケアマネジャーや介護サービス提供事業所の「業務の効率化」を目的に「管理しやすい」「操作に迷わない」ソフトを提供



介舟ファミリーの環境貢献(1)



介舟ファミリー導入(作業のIT化)による省資源化

★活動記録の電子化とデータ連携により紙の節約と作業効率化

・今までは...

1か月に1,000枚近くの手書きの介護活動記録を集め整理作業が必要
(年末になると段ボール5, 6箱分、年間約12万円の用紙代がかかる)

・介舟ファミリーの導入によって...(介舟ファミリーは記録作業も電子化)

スマホなどで即時記録できて用紙代は0円! 自動データ連携で数時間
かかる整理やファイリング作業も不要に (茨城県水戸市 社会福祉法人K社様)



★オンラインWeb会議の利用で打合せがいつでもどこでも可能に

・今までは...

介護フランチャイズ経営では本部からの指示や打合せの調整作業が必要
(複数の介護事業所に出向いて打合せするか、本部に来てもらう必要あり)

・介舟ファミリーの導入によって...(介舟ファミリーにはWeb会議機能あり)

オンライン会議がいつでもどこでも可能で、各事業所との連絡が簡単になり、
出張も不要で本部での統括管理がしやすくなった (東京都品川区 P株式会社様)



介舟ファミリーの環境貢献(2)



システムのクラウド化による環境資源保全

★システム更改時のCD-ROM配布→クラウド環境へ即時反映

- ・今までは...
法改正のたびにシステム改定版のCD-ROMを配布
(顧客企業ごとに1枚必要なので、大量のCD-ROMを消費)
- ・クラウド化によって...
システム変更は即時反映。CD-ROMの配布は不要



★顧客環境不具合の現地対応→クラウド環境でのリモート対応

- ・今までは...
顧客環境に不具合が発生すると顧客先まで出張して対応
(電話で解決しない場合、顧客現地までの出張が必要)
- ・クラウド化によって...
顧客先のPC環境がリモートで参照可能。現地出張は不要



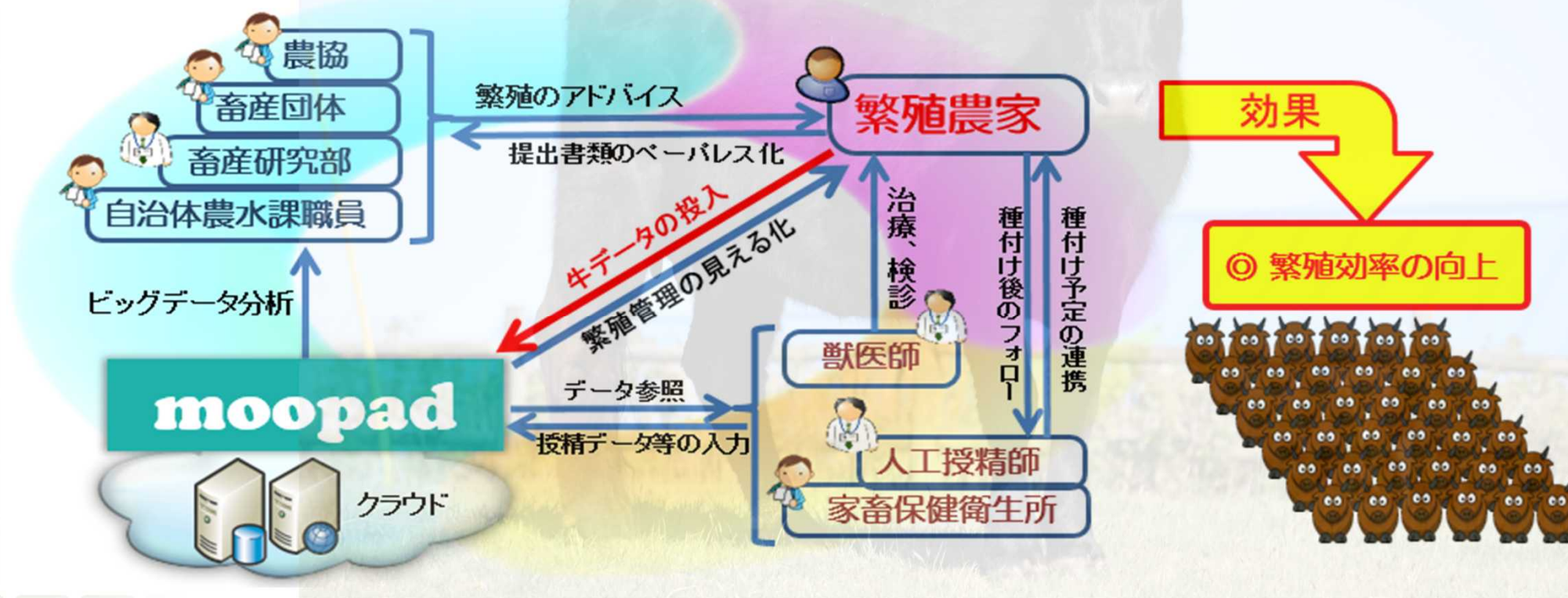
moopadの機能



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社日本コンピュータコンサルタントは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

moopadは、和牛繁殖に関する情報を蓄積し繁殖効率向上に貢献できるITサービス。毎日の作業で集まるデータを活用し、牛一頭一頭をパソコンやスマートフォンなどで常に監視＆状況把握。繁殖情報を家族やスタッフと間で共有し、チームワークを強化できるITシステムを提供



moopadの環境貢献



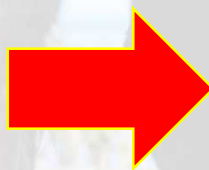
★自治体への提出帳票のペーパーレス化

受精証明書などの申請は、クラウドで管理している牛の個体情報から自動的に電子文書に出力。何頭分でも簡単に作成でき、**手書きと比べて大幅な申請時間の削減と提出書類のペーパーレス化が可能。**

(受精卵移植証明書、受精証明書、受精報告書、受精台帳、年次別受精成績表など)

★今までは紙で管理していた繁殖管理をITで見える化

紙で管理していた繁殖カレンダーなどは**すべてPCやスマートフォンに登録・参照**ができる



人権デュー・ディリジェンスの実施

●日本コンピュータコンサルタントの人権基本方針

当社は、社会が直面する課題にイノベーションで応え、優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する中で、人権が尊重される社会の実現を支援していきます。その前提として、当社は人権尊重の責任を果たす努力をして参ります。

●人権デュー・ディリジェンス

当社は、ビジネスと人権に関する指導原則および当社の人権基本方針に基づき、人権デュー・ディリジェンスの仕組み(人権への負の影響とリスクを特定し、リスクを分析・評価して適切な対策を策定・実行するプロセス)を構築し、これを継続的に実施します。

(一例)ハラスメントを防ぐルール、相談体制の整備(安心して働ける職場環境作り)

- ・2010年 7月～ 管理者研修にハラスメントに関する講義を追加
- ・2018年10月～ メンタルヘルスセミナーに「ハラスメントとメンタルヘルスの関わり」追加
- ・2022年 4月～ ハラスメントに関する社外相談窓口を設置(社内窓口は以前からあり)

「ICTで障害者の職域拡大」をテーマにプレゼン大会を実施(2025年2月)

●2020年度入社社員7名により「障害者の職域拡大のためにどのようなICTを開発すればよいか」をテーマにプレゼン発表会を実施



#	サブテーマ
1	雇用前から採用時までの障害者雇用をサポートするWEBシステム
2	仕事をサポートするスクリーンリーダー
3	「ワークカルテ」の開発および障害者にとって働き易い仕組みの提案
4	バーチャルリアリティ (VR) を利用したコミュニケーション
5	障がい者雇用を支援するマッチングプラットフォームの開発
6	障がい者向けタスク管理ツールの提案
7	日々の状態・状態を発信するNCC Accompanied Support : Nあこ

発表者 : 7名
聴講者 : 55名
対面 : 13名
オンライン : 42名





World Triathlon
Championship Series
YOKOHAMA
2025



日本コンピュータコンサルタントは 2025ワールドトライアスロン横浜大会の 公式サポーターです。

●ワールドトライアスロンシリーズとは

「ワールドトライアスロンシリーズ」は、世界を転戦しながらポイントを獲得し、年間のチャンピオンを決定するシリーズ戦です。

横浜大会組織委員会は国際競技団体であるワールドトライアスロンと2025年から2029年までの5か年契約を新たに締結しました。2025大会は、第3ステージとして位置付ける5年間の初年度であり、かつ第15回記念となる重要な大会になります。

2025ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会

会場：横浜市山下公園周辺特設会場

主催：世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会

SDGs事業：経済分野の取組み



(1)「よこはまグッドバランス企業認定」(横浜市)の取得



- 2019年12月2日に認定事業所として認定
- 2023年12月再認定
- ★男女共に働きやすい職場環境作りの積極的推進

(2)「かながわ子育て応援団」(神奈川県)の活動



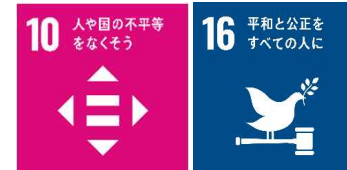
- 2011年12月26日取得
- ★仕事と家庭の両立支援の積極的推進

(3)「優良申告法人」(神奈川税務署)の表敬を継続



- 2020年6月に表敬を受ける
- ★安定した業績と透明性のある企業姿勢を継続

SDGs事業：社会分野の取り組み



(1)健康優良企業(健保連 神奈川連合会が優良企業を認定)



かながわ
健康優良企業

- 2021年12月13日に 健保連 神奈川連合会から認定
2024年12月13日再認定
- ★従業員の健康と第一に考え、残業の削減や有給休暇取得の促進、従業員への健康指導などを通じた健康増進の取り組みを推進

(2)プライバシーマーク(JIPDEC)の取得



- 2005年取得以降継続認定
- ★「個人情報に対する基本方針」を定めて公表/体制の整備、社内研修を行い情報管理ルールを周知徹底

(3)第18回女性活躍・ダイバーシティ表彰の受賞(授賞式 2024年6月20日)



- 神奈川県情報サービス産業協会より、ダイバーシティ推進に関して一般の模範となる社員を表彰(貢献賞1名、キャリアアップ賞1名)

SDGs事業：環境分野の取組み(1)



検索エンジン「ECOSIA」を使ってWeb検索しよう！

<かながわみんなのSDGs>「みんなのSDGs賞」受賞！

日頃パソコンやスマホで使用している検索エンジンを「ECOSIA」(エコシア：<https://www.ecosia.org/>)に変更する取組みを社内展開しています。

Web検索45回＝1本植樹



ECOSIA活用の概要

ECOSIAは収益源である広告収入の80%を非営利団体WWF(世界自然保護基金)に寄付しており、日常業務で検索を行うだけで、自然保護に寄与する活動になります。

ECOSIAで約45回検索することによって1本の木が植えられ、これまでに1億本以上の植樹が実行されているとのことです。ECOSIAにはスマホアプリもあり、まずは管理部門で採用したこの取組を社内に紹介することで、社員の自律的な自然保護への関心の和が広がります。

SDGs事業：環境分野の取組み(2)



(1) 廃棄物削減(年度目標の設定)

- 自社内でのペーパーレス(紙使用量削減)の年度目標を設定
(2019年度比) 管理部門帳票を2021年度までに30%削減(達成)
2022年度以降は35%削減を設定(2024年度達成)

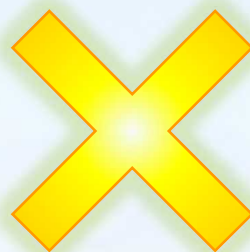
(2) 廃棄物削減(ペーパーレス化)

- Web会議の利用やタブレットを利用した会議・ミーティングを促進し
会議資料の紙消費を削減
(2021年度に全社員にPC配布、オンラインでの会議が行えるシステム
[MS-Teams]アカウントも全社員に登録済み)

(3) リサイクル推進(再生資源の活用)

- コピー用紙／名刺／封筒など社内の紙資源を2025年度までに変更
可能なものは100%環境に配慮した紙(再生紙など)の利用とする
(コピー用紙・名刺・封筒のエコペーパー利用は2024年度に達成)

今後のSDGsへの取り組み



SDGsの推進・達成をNCC全社員の共通課題として捉え
「かながわSDGsパートナー」の一員として
神奈川県およびパートナー企業・団体のみなさまと連携し
社会的課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に
貢献する会社となるよう、今後もSDGs事業を推進します



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

株式会社日本コンピュータコンサルタントは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

連絡先:

(株)日本コンピュータコンサルタント

企画室 営業企画

長岡 永典

nagaoka@n-c-c.co.jp

NCC本社 〒221-0052 横浜市神奈川区栄町5-1
横浜クリエーションスクエア6F

TEL 045(440)6125 FAX 045(440)6129